



錦町議会だより



2022.NO
139

奉祝 天皇陛下御即位

おはよう

健康祈願祭

今年一年の町民の健康を願って

目次

- 第4回定例会 2
- 産業行政視察研修／認定農業者会の要望書 3
- 一般質問一覧 4
- 一般質問 5～13
- 議会活性化特別委員会報告書 14～15
- 議会の動き／トピックス 16

追加予算約5億円を可決

自主防災組織へのテント 及び検温消毒器の購入費を計上

令和3年 第4回 定例会

令和3年第4回定例会は、12月7日から10日までの4日間の日程で行われ、令和3年度各会計補正予算6件、条例改正等4件、報告1件が上程され、慎重審議の結果、いずれも原案のとおり可決した。令和3年度一般会計補正予算の主なものは、ふるさと納税の増加による基金の増額、自主防災組織へのテント及び検温消毒器の購入費、旧一武中跡地流木等処分業務委託料、久保宇野地区がけ崩れ対策工事費及び町道一丸第二線の災害復旧費など。

最終日には令和元年6月定例会以来2年4ヶ月の間、作業部会17回、全委員会15回にわたり協議を重ねてきた錦町議会活性化特別委員会（荒川委員長・岡田副委員長外委員9名）による最終報告（本誌P14、P15に内容掲載）がなされ、原案のとおり可決した。これをもって活性化特別委員会は調査終了となった。

なお、一般質問は、12月8日から10日に行われ、9人が登壇し、執行部の考えを質した。

条例改正等

- ① 公益的法人等への錦町職員の派遣等に関する条例
公益的法人等へ一般職の職員を派遣する際の給与、職務復帰及び復帰時における処遇等を法に基づき制定するもの
- ② 錦町個人情報保護条例及び錦町特定個人情報保護条例の一部を改正する条例
デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律により個人情報保護制度に関する法律が統一されたために改正するもの
- ③ 錦町国民健康保険条例の一部を改正する条例
出産一時金の支給額の見直しに関する健康保険法施行令の一部改正に伴い改正するもの
- ④ 錦町国民健康保険条例の一部を改正する条例
全世代対応型の社会保障制度を構築するため、被保険者のうち未就学児に係る均等割国保税を軽減する規定を設けるもの

第2回臨時会

令和3年11月1日に行われ、災害応急対策費及び予備費等に係る専決処分1件、補正予算1件、条例改正1件、認定1件が上程され、原案のとおり可決した。

条例改正

錦町一般職の職員に関する条例の一部を改正する条例

人事院及び熊本県人事委員会の勧告に基づき、一般職の職員（議員を含む。）の期末手当支給率を引き下げる改正を行うもの

その他

町道路線の認定について

路線番号 289号

路線名 佐土原知敷原線



国会議員への要望及び産業界行政視察研修報告

球磨郡議長会（9町村）では、令和3年12月20日から22日の3日間、金子総務大臣・松村・馬場参議院議員へ災害復旧・復興等の支援や安全で安心できる国土づくりに関する要望等と益田川ダム（島根県）の視察研修に行ってきましたので報告致します。

○国会議員への要望事項

- ・令和2年7月豪雨に関する要望
- ・安全で安心できる国土づくりに関する要望
- ・農林業の振興と活力ある農山林の建設に関する要望
- ・教育支援活動等に対する予算及び支援員の確保に関する要望
- ・上水道事業及び簡易水道施設整備に関する要望
- ・企業誘致の推進に関する要望外



○益田川ダム視察研修

- ・ダムの目的
治水専用ダム（平常時は貯水しない流水型ダム）
- ・ダムの概要
堤頂長169m 堤高48m
総貯水容量675万 m^3 常用洪水吐高さ3・4m×幅4・45m×2門、非常用洪水吐 高さ3・3m×幅11・5m×7門。 外にダムの特徴として流木止設備及び流木捕捉工（ダム上流面）



認定農業者会から要望書提出

令和3年12月3日、錦町認定農業者集会において、同会山崎真一会長より、金山山幸議長に「燃油等農業生産資材高騰対策に関する要望書」が手渡されました。尚、この集会には、荒川副議長、池田総務建設常任委員長、石松厚生文教経済常任委員長も同席しました。要望書内容は次のとおり。

平素は、当会に対しまして格別のご指導・ご鞭撻を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、近年の原油や穀物をはじめとした世界的な資源の異常な高騰は、国民生活はもとより農林水産業、製造業、運輸業など産業全般にわたり大きな影響を与えています。

この中でも特に、農業については、燃油、肥料、飼料等の資材価格の上昇を生産物の価格に転嫁しにくいため、大きな打撃を与えております。とりわけ、お茶、施設園芸、畜産については、経営コストのうち、資材の割合が大きいため大変厳しい状況になってきています。

また、低迷を続ける米価格に加えて、昨年の豪雨災害、新型コロナウイルス等で以前から影響を受けている農業者も多くいる中で、更に、こうした状態が続けば、農者にとっては死活問題となり、農

家を目指す若者も減ってくるのではないのでしょうか。

現在、備蓋石油放出等の報道がなされていますが、短期間の措置にしかならず、先行きは不透明なままです。

つきましては、議会におかれましても、国・県への要望活動、町当局への働きかけ及び予算配慮をいただきますようお願いいたします。



第4回定例会一般質問事項一覧

議員名	質問事項
池田議員 (P 5)	通学路の改善要望への対策について
	職員の労務管理について
藤川議員 (P 6)	道路環境整備・県道覚井一武線改良工事について
	前町長に対する「求償裁判問題」について
竹田議員 (P 7)	介護保険、認知症について
	錦町担い手支援給付金事業、錦町商工業後継支援事業について
荒川議員 (P 8)	下水道料金改定について
	盛土による土砂災害の危機への対応について
	太陽光発電整備の規制について
早田議員 (P 9)	小・中学校の楽器更新について
	介護保険の認定、保険料収納と滞納について
	ヤングケアラー実態調査について
吉田議員 (P 10)	安全に町道、農道を通行できる対策について
	町の将来に向けてについて
右田議員 (P 11)	人吉海軍航空基地資料館の運営面について
	人吉下球磨消防組合と上球磨消防組合の合併について
石松議員 (P 12)	子育て世代の就業推進と支援について
	球磨村大王原公園仮設団地の今後について
	過去の一般質問より
岡田議員 (P 13)	町水道と下水道の料金改定について
	町の特産物を食育やセールスの面から考えると
	部分開通したくま川鉄道と産交バスの利便性について



一般質問

町政のここが聞きたい

9人が登壇
(要約掲載)

通学路の改善要望への対策は

池田 木上、一武、西校区の要望件数は。

教育振興課 今年度の要望箇所としては、西校区31件、一武校区17件、木上校区20件となっております、道路関係49件、交通・防犯関係9件、支障木関係10件となっております。

池田 町内にある幼稚園、保育園からの要望はあっているのか。



池田 秀晴 議員

教育振興課 園からの要望については、家用車の送迎が大半であるので、要望はあつてないが、学童保育の方から、信号機の移設要望が1件あつている。

池田 要望件数に対する改善件数は。

教育振興課 危険箇所等の改善に関しては予算が伴う。速やかに対応できるもの、時間を要するもの、多岐にわたる要望個所の優先順位を通学路安全プログラムの会議の折に精査している。

池田 未改善件数に対する今後の対応は。

町長 要望も多岐にわたるので、道路であれば、子どもたち、或はお年寄りの生命、財産に、リスクを少しでも少なくし優先順位を高くして、そこから先に改善、対応を図っていくことになる。

職員の労務管理について

池田 若い職員が退職する理由が多いのは。支障のない範囲で構わないので。

総務課 色々な要因があるが、懲戒処分を受けて自主的に退職した例、実家の家業を継ぐ必要で退職した者、自分で他にやりたいことがあつたり、自分にはこの仕事があつたといった退職の理由がある。

池田 長時間労働防止の対策について尋ねる。

総務課 事業執行の遅れている業務についての執務をしていると考え。特に昨年の災害後に人員増がでさないう状況になったことで時間外勤務が続いている部署もある。

池田 職員の健康管理もさることながら、2週間に1度、できれば1週間に1度ノー残業デーを設けること

を提案する。

町長 職員は町民の皆さん方に、よりよいサービスを図るために一生懸命頑張っており、時間外も当然しなければならぬ。そういう観点からして来月からノー残業デーを取り入れて、職員の負担を減らしていく。

池田 ストレスチェックの実施が必要ではないか。

総務課 労働者のメンタルヘルス、不調の未然防止が目的で、常時50人以上の労働者を使用する事業所に実施する義務があり、本町も行っている。



ノー残業デーが望まれる庁舎

県道覚井一武線改良工事 早期の工事着工を！



藤川 喜一 議員

藤川 県道覚井一武線は木上地区と町中心部を結ぶ木上地区民にとって最も重要な路線である。球磨大橋から県道人吉水上線交差点までの区間は通行量も多く小学校の通学路なのに歩道もなく大変危険であり交差点改良も含め木上地区民より幾度となく要望が上がっている。H24年度計画説明から10年近くなるが今だに工事着工されていない。なぜか。

地域整備課 県の計画としてH24年度に説明会を行い事業を進めていく

予定であったが岩城地区の地籍のずれによる用地買収の進捗が見込めないことから県の計画が凍結された経緯がある。H30年度に税務課による地籍の修正がなされ県に再度計画を要望。R2年度予算から事業計画が復活しR2年度に改めて測量調査及び設計業務が実施され新たな計画図面が作成された。球磨大橋右岸堤防際から県道人吉水上線までの区間234m、県道人吉水上線は緒方商店前から木上小学校西側出入り口までの区間255mの両県道の拡幅改良工事となっている。

藤川 地籍のズレの修正になぜそんなに時間がかかったのか。県の説明(土木部)と違う部分がある。もっと早く着工できたのではないかと疑問や不信感がある。現段階でいつ完成予定と考えているか。

地域整備課 私の想定では県の工事は5年がスパンなので令和2年度スタートして令和7年度ということになるのではと推測する。



早期着工を。(県道覚井一武線改良工事)

前町長に対する『求償裁判問題』の現況は。

藤川 前町長の不法行為に対して錦町が求償を求めた裁判(H26・2・25判決確定)の現況について説明を求めらる。

総務課 町が拠出した額は5387万2413円。回収した額は119

8万2001円。未収額は遅延損害金2955万8082円を含めて7144万8494円となっている。

藤川 昨年12月一般質問した以降一年間でいくら回収できたか。

総務課 今年6月に預金口座の調査から900円を回収した。

藤川 未収額は町民の血税であり町民の財産である。時効は10年。取れなかった時の責任は誰が取るのか。支出を決断した町長ではないのか。

町長 取れなかった場合は『町民全体で損失を補う』ということが妥当と考えている。

藤川 その発言は無責任であり町民の一人として絶対容認できない。町長の政治姿勢として受け止める。

※本人の希望により原文のまま掲載

訂正

前号9頁大見出しの「川辺川問題」は「川辺川ダム問題」の誤りでした。

介護、認知症の予防対策は

竹田 本町の高齢者人口と高齢化率の推移は。

保険政策課 令和元年32・4%、令和3年推計で34・39人33・6%、令和10年度34・42人38・5%と見込んでいます。

竹田 高齢者への健康指導、講習会開催と介護予防検診の結果は。

保険政策課 介護予防サポーター養成講座、高齢者への福祉サービスとして、通所型、訪問型サービス、一



竹田 農利人 議員

般介護予防事業を行っている。介護予防検診は270名の参加、要介護とならないようにサポートしていく。

竹田 介護、認知症の関係から高齢者の生涯学習や「にしき生き生き大」の受講内容、参加者の状況は。

教育振興課 生き生き大学は「いきいき行動ハツラツ人生」をキャッチフレーズに掲げ毎年開講し、現在12講座にて、年9回〜12回開催している。

スポーツ推進員の軽スポーツ指導は

竹田 推進員で高齢者の軽スポーツの指導はどうか、普及や養成講座は出来ないか伺う。

教育長 教育委員会としましては、生涯学習の観点から「老いても安心して暮らせる町」を念頭に置き、早速高齢者向けニュースポーツの普及

推進を実践していきたい。来年度から実施に向け検討している。

竹田 認知症予防の取り組み課題は。

保険政策課 元氣クラブなど認知症予防での取り組み、生きがい創出や介護予防の観点から、「地域の縁がわ」を全地区に拡充する目標にしている。認知症になっても安心して暮らせる体制の構築に向け事業を継続する。



認知症予防 生活習慣の見直しで注意したいポイントまとめ

担い手支援給付事業、商工業後継者支援事業について

竹田 国の次世代人材投資事業と錦町農業担い手支援給付金の状況は。

農林振興課 次世代資金は、令和3年まで49名、町担い手給付金は16名。

竹田 就農初期の資金繰りサポートする効果と問題点は。

農林振興課 初めは、収入不安定になりがち、経営を安定させ、軌道に乗せる効果がある。

竹田 担い手給付金が2年後限りで効力を失う、その後の新規就農者へ支援を。

農林振興課 事業の継続を希望する。

竹田 商工業後継者支援給付金は。

企画観光課 今年度からの事業1事業者年20万円最長5年の制度、現在2名申請あり審査会を開く予定。

竹田 商工業者の後継者も今後厳しい状況、後継者である商工会青年部14名に1回の助成金は出せないか。

町長 コロナ対策があるので、カバーできるか検討させていただく。

水道料金値上げ 今一度、再考を。



荒川 孝一 議員

荒川 令和3年10月使用分から上下水道の料金改定が実施された。実質値上げであるが、改定に対して議会は認めたのかという町民の方の問いに対し、熟慮採決したと回答はしている。町に対し町民の方の声は。

地域整備課 新たに水量制を導入したことに伴い、高くなったという問い合わせが多くあり、その都度、料金改定について説明を行っている。

特に農家や事業者の方は、一般家庭用に事業用を加算するため使用水量が多くなり、割高になる傾向がある。今回の改定（平成10年の供用開始以来、今回が初めての料金改定）により、町民の方には大変な御負担になることは承知しているが、下水道事業会計の状況を考慮するとやむを得ないと判断した。

荒川 水道事業運営審議会答申書には、実施時期においては、昨年の7月豪雨災害やコロナ禍の影響を考慮し、令和3年10月以降の実施が望ましいと明記してある。議会がこの書類をもらったのが3月、10月頃にはコロナ禍も落ち着くのではと見通していた。が、今もコロナ禍が続

き、原油高騰にも影響している。こういった生活に必要な水、ガソリンが値上がっていると生活が厳しくなる。今一度、見直すべきではないか。

地域整備課 指摘のコロナ禍による厳しい経済状況になっていることを考慮し、もう一度見直すとなった場合、下水道特別会計としての財政収支バランスの確保や一般会計繰入金削減など、課題とされている問題が解消できないばかりか、先送りすることにより厳しい経営状況が続くということとは間違いなく、また、これまでの改定に伴うシステム改修費用260万円ほどかけて改修している中、再度改修を行うということになると二重の投資が必要となる。

荒川 現状の町民の方の暮らしを考慮し朝令暮改、考え直しては。

町長 供用開始以来、値上げをせず運営してきた。広報紙だけでなく

町政座談会で直接説明を計画していたが、開催できず今後もしっかりと説明を続け、町民の方には御理解をいただくしかないと思っている。

荒川 今後の公共下水道の運営を慮り議決賛成を私はした。賛成した以上、町民の方に私も説明していかなければならぬが、やはり考え直すことも必要だと思っている。今一度、町長、担当課も考慮いただきたい。



上下水道料金値上げ

楽器寄付ふるさと納税がある 小中学校の楽器更新について

早田 楽器の買替えや修理の要請があった場合の対応については。

教育振興課 楽器に関しては、比較的耐用年数も長いことから、買替えよりも修理の頻度が高い。学校からの要請があった場合は当初予算或いは、補正予算で対応している。

早田 楽器ふるさと納税を検討しては。

教育振興課 非常に画期的なアイデアだと思う。大規模自治体での導入



早田 和彦 議員

はあるが、本町ではまだ検討していない。

早田 楽器調達方法として紹介した。



高価な楽器

介護保険、差押え家庭が全国2万人超

早田 介護保険料滞納時の対応は。

保険政策課 督促状を発送後、それでも納付がない場合は、催告書を発送する。催告書発送後に滞納者から

の相談等があれば、滞納に至った原因を確認し、税務課と連携しながら完納へ向けた計画を立てて対応している。

早田 差押えられ、生活が出来ないような場合の町の対応は。

保険政策課 滞納者が介護保険料だけでなく、生活そのものが経済的に厳しい場合は、生活保護の申請も選択肢の一つになる。生活保護の受給に抵抗を感じる方も多いが、生活保護を受けることで経済的にも問題が解消出来ると思う。

早田 特に、高齢者だけの世帯では、厳しい生活になるのではと思う。今後も生活支援対応を是非お願いしたい。

ヤングケアラー “幼き介護” 実態は支援が必要な児童、生徒は年々増加

早田 熊本県も今年度中に調査を実施しようだが、調査の必要性は。

教育振興課 現状、支援を必要としているヤングケアラーの情報はない。調査する前に、各学校で行っている

教育相談、或いは生活アンケート等を基に、早期発見につなげたい。

早田 ヤングケアラーの言葉を広く知ってもらう為に、啓蒙活動が必要ではないか。

教育振興課 全国の各自治体で調査、啓蒙活動、支援対策等が講じられている。本町としても、ポスター等学校内に掲示したり、人権関連の授業の中で取り入れていくなど、工夫して取り組むべき案件であると考えます。

早田 相談窓口の開設は。

教育振興課 相談窓口に関しては、現状中学校のみ、心の教育相談員を配置している。しかしながら、ヤングケアラー問題のみならず、支援が必要な児童生徒数は年々増加傾向にあり、業務量も増大していることから教育スタッフの増員が急務と考えます。

早田 教育長の考えは。

教育長 スクールソーシャルワーカーや主任児童委員の方々と実態把握を実施し、必要な支援を速やかに講じて行かなければと思っている。

安全な町道へ



吉田 眞二 議員

吉田 歩道が整備されていない道路は、白線が歩行者、子供たちを守る命の線、安全確保の観点から早急な対策をお願いする。

吉田 町内で白線が消えている所が散見される。安全面も考えて、白線の引き直しに取り組み考えはなにか。

地域整備課 県道、町道の歩道の整備は用地の確保、予算の確保が必要なのでなかなか進まない。区画線は各年度で予算を確保して行っている。見えにくい箇所が散見されるが追いつかない状況、早期に解消できるように今後計画的に整備していく。



白線が消えた！！

吉田 一武本別府、寺村地区の町道のコンクリート舗装、ひび割れ段

差が見受けられ躓き転倒の恐れがある。アスファルト舗装への計画は。

地域整備課 町道山ノ手線の本別府地区については、アスファルト舗装に打替えを計画する必要がある。町の町道長寿命化計画による調査結果、損傷具合、交通量を考慮して国の交付金や起債を活用しながら実施したい。

吉田 町内の道路で段差、凹凸が見受けられる。町道水掘中島線(別府、栄地区)の今後の対策は。

地域整備課 町道の段差については要望もあり、維持補修で対応している。町道水掘中島線、別府、栄地区は堤尻溜池からの排水横断溝、農地の排水横断溝の継ぎ目の経年劣化による段差が生じている。舗装の摺り付けなど段差解消を進める。

吉田 JA球磨本所、一武小学校横の町道工業団地線、県道錦湯前線の交差点の段差は何故か。

地域整備課 非常に段差が長く横断

している状態、なぜ段差がついたか分かっていない。熊本県に改善要望はしている。

吉田 ブレーキを踏み減速する。考えれば安全に通れる。初めて通行される方は不快に思われる。そこで提案だが(この先段差あり)等の看板の設置を県に要望してはどうか。

地域整備課 看板設置の対応をお願いすることはやぶさかではない。

一歩踏み込んだ発想

吉田 本町にある県立球磨中央高校、県の教育委員会と理解している、高校の賛同が得られれば全国で例がない給食の提供を検討できないか。

町長 給食センターも建て替えの時期が来ている。5年先、10年先想像以上に代わってくる、先手を打っていくことは非常に重要と思う。しっかりと県に提案申し上げる。

町立人吉海軍航空基地資料館の 運営面に提案

右田 本町資料館も今年3月リニューアルオープンし、規模が拡大され、目玉として九三式中間練習機、通称赤トンボの実物大模型が展示され、誘客の一因となったと確信している。

そこで、今後本町の観光拠点と期待し、運営面に3点ほど提案する。先ず第1点目が、戦争当時の生々しい状況を知る方々のインタビュ映像を視聴覚コーナーでテレビ放映されているが、収容人数が少数に限定さ

れる。放映内容がリアルで当時の異常事態が鮮明に浮かびあがるので、修学旅行者等の入館を考慮すると多目的ホールで上映した方が効果は大と思うが、いかがか。

企画観光課 多目的ホールには、大型スクリーンも準備しているので、大人数での視聴には、活用していきたい。

右田 第2点目が、資料館へ乗り合いたクシーの停留所を新設する考えはないか。高齢者のいきいきサロン等で資料館見学をしたいが、往復の交通手段に自家用車を利用した際の事故等を考えると憂慮する。そこで、それを解消する為に、誘客の点からも停留所の新設はできないか。

総務課 住民からの要望であれば、受託事業所と車輛や運転手の確保等対応可能かの確認を行い、町地域公共交通会議を開催し、検討をする。



リニューアルオープンで期待される利用者増

町長 料金引き下げには、検討が必要。従ってしばらくの間この体系を維持したいので、御理解いただきたい。

管内消防組合の合併を早急に!!

右田 人吉下球磨消防組合と上球磨消防組合の合併の件について、今12月定例議会において10市町村統一の質問で、首長の合併に関する意向伺いを致すことにしている。昨年の7・4水害を考慮し、機動力強化の点からも早急に合併すべきと思うが、町長の意向を伺いたい。

右田 第3点目が、高齢者に限定し入館料の減額はできないか。資料館の遺品等展示物は、高齢者の方には当時の苦難な状況が鮮明に見えてくるのでは、そのように当時苦労された方々のお陰で今日の平和な生活があると察したとき、資料館の管理条例第14条の規定に入館料の減免とあるが、それに基づき改正できないか。

町長 昨年甚大な被害を受けた、人吉下球磨消防組合の庁舎建設や管内の今後の人口減少や通信指令センター建設等考慮すると国からの補助金及び財施面で有利な起債を受けられる期限は短期間で今しかない。従って、合併は必要不可欠であり、今後、各市町村長にも積極的に打診して行く所存。



右田 宣之 議員

子育て世代の 就業推進と支援は



石松 まゆ子 議員

た人材の育成と企業誘致につなげる。

町長 日本のデジタル化が進む中で、女性が活躍する成長分野の一つとして、デジタル化に参画して子育てができる環境を伸ばしていく。

石松 コロナ禍の中で子育て中の悩みやストレス解消ができ、無理なく働くことができるワークスマートオフィスを考える。

企画観光課 子育て世代の就業支援にはワークライフバランスの実現は不可欠。新しい働き方ができる環境を整えていく。

球磨村大王原仮設団地の今後は

石松 錦町の大王原公園に球磨村の被災者の仮設住宅が建てられている。貸与期間は救助法で二年である。熊本地震における木造住宅は恒久住宅として転用され、無償譲渡により公営住宅として活用されている。大王原の住宅は転用可能なのか。

地域整備課 建築基準、耐震基準を満たす構造であることから、恒久住宅として転用可能である。

石松 仮設期間の後も錦町に住みたいと要望が多い。仮設として役目が終わった後、錦町の町営住宅として活用する考えは。

地域整備課 退去された後の対応については県から事前に確認が来ており、検討している。しかし、活用については今は時期尚早と判断する。

過去の質問から問う

石松 一つ目、今回、国が経済対策として現金やクーポン券を給付するが、コロナ禍における非課税世帯・ひとり親家庭の支援は。

町長 非常に困っている方へどのような事ができるか、検討するように職員に指示をしている。

石松 二つ目、農作物の被害、大雨で崩落した土砂により災害リスクも高まっている。被害防止と事故防止のため南部農道の山林側に有害鳥獣の侵入を防ぐ金属柵の設置は。

農林振興課 有害鳥獣被害防止総合対策交付金事業を利用して取り組み事が現実的な対策と考える、県にも要望していく。

石松 今回、子育てをしながら仕事ができる就業推進として「ベビカム(株)」と包括連携協定を締結された。内容とこれからの取り組みは。

企画観光課 町内での子育て環境の向上及び就業を推進するために、子育てに関するノウハウや情報IT技術に関する知見・就業支援等に関する実績を持った企業との連携は不可欠である。今後はコロナ禍で需要が高まっているオンラインイベントを実施する手法など、IT技術を持つ



大分県豊後高田市のワークスマートオフィス

水道料金の改定について

岡田 水道料金の改定に対し、町民の方々からの問い合わせは。

地域整備課 上下水道合わせて105件、そのうち高くなったところから89件、安くなったところから16件あった。

岡田 水道事業については、私が議員になる前から議論がつくされてきた。加入率も80%になった。水道料金は全国的に見ても、人口減少、施設の老朽化などから料金の値上げは、避けられないのが現状だ。あさぎり



岡田 武志 議員

町と多良木町の担当者に話を聞いてきたが、あさぎり町は加入率が94・7%であり、整備が難しい所もあると聞く。

料金が安い方が良いに決まっているが、安心安全な水道事業を行うために、町がやること、町民がやるべきことがあると思うが。

地域整備課 水道の使用量から下水道の料金を計算するため、家庭用と事業用と、メーターを別につける方法が考えられる。

岡田 事業用に使用した水は経費とし計上出来るし、下水道料金も抑えられる。又、錦町は有収率が78・4%で、これは配水した水の量と料金を徴収した水量との差で、水漏れが多いことになる。町民の方々に御家庭での水漏れはないか、確認をお願いしなければならない。

特産品を給食に使うことはセー
ルスと食育につながる

教育振興課 本町の特産品については、地産地消の観点から平成28年度から実施している。今後においても現在契約している事業所との連携を密に図り実施していく。

岡田 錦町のおいしい食材を給食に使用することは大切なことだ。ただ限られた給食費の中で、この事業を進めるのは問題がある。牛肉や豚や鶏、梨や桃、メロンにイチゴ、お茶や野菜など、錦町の誇れる食材を給食を通じて、子ども達に食べてもらいその味を、価値を、これから世界に羽ばたく子ども達に伝えてもらう。このことがセールスであり、食育だと思ふ。

町長 私も本当に大事なことだと思ふ。担当課としっかりと話をしながら検討する。

産交バス、くま川鉄道の今後について

総務課 昨年12月に、くま川鉄道再生協議会を設立し、先月11月28日に部分運行を開始した。

岡田 くま川鉄道の全線開通までには、かなりの時間がかかる。現在湯前から肥後西村駅間での部分運行だが、バスの球磨中央高校乗入など鉄道とバスの利便性を図ることが、ピンチをチャンスに変えることになる。

町としても補助金だけではなく、鉄道やバス、そして球磨中央高校に対しても、町民一体となった支援の手が必要だ。



くま川鉄道部分開通

議会活性化特別委員会 報告書



12月定例議会にて議会活性化特別委員会（荒川孝一委員長）より活動報告書が提出されました。内容詳細は次のとおりです。

I はじめに

議会は住民の代表機関、意思決定機関として執行機関を批判監視し、政策を立案し、地方公共団体の意思を決定するなど、重要な役割と責任がある。ましてや地方分権が提唱される現在において、議会の存在責任は重くなっている。このことから本議会では「議会活性化」に取り組むべき課題として、議長を除く全議員を委員とし、令和元年7月29日に「議会活性化特別委員会」を設置し、2年4ヶ月間の間、作業部会17回・全委員会15回の協議を重ねてきた。

II 活動経緯

議会は、常に住民の意向が議会審議を通じて町政に反映されることを念頭に置き、執行部提案、または議員提案を的確に判断し、議決しなければならない。このために「活発な議会啓発」をテーマに、「議会内部・活性化の取組み」として、議会の審議方法や審議体制・議会体制の改善、議員の資質向上に取り組むべき課題を「短期検討課題」と「長期検討課題」に分け委員会審議を行った。

III 議会活性化特別委員会・審議期間

・令和元年7月29日～令和3年11月30日

IV 議会活性化特別委員会にて検討項目

短期検討項目

- ・各団体との意見交換
- ・政務調査費
- ・一般質問時間
- ・議会研修見直し
- ・議事録配布
- ・町政座談会へ議会としても参加
- ・議会運営委員会を設置しない

長期検討項目

- ・ペーパーレス・タブレット化
- ・決算委員会
- ・通年議会
- ・議会あいねっと放送・インターネット中継
- ・正副議長任期・常任委員会名称
- ・町長の反問権
- ・議場の整備

V 検討課題：審議結果

議会活性化方策	検討結果
町内各団体と意見交換会	・ 錦町商工会・錦町鳥獣被害対策協議会と実施できたものの実施予定であった人吉市議会等他の団体と交換会、コロナ禍のため断念。
政務活動費支給	・ 現状通り、不支給
一般質問一律 50 分	・ 現状通り、60 分
議会研修見直し	・ コロナ禍のため研修なし、検討できず現状通り。
議事録配布	・ 現状通り、議員個別に製本は配布しない。
町政座談会、議会として参加	・ 現状通り、議員任意で参加。
議会運営委員会を設置しない	・ 現状通り、設置する。
ペーパーレス化・タブレット導入	・ 既に実施している湯前町議会に作業部会が赴き、錦町議会でも導入すべきと採決し、町執行部と協議したが、最終的には導入までにはいたらなかった。今後は議会運営委員会を通じ執行部に要求をしていくこととした。
決算特別委員会再設置	・ 平成 26 年設置議決後、再確認のままになっていたが、今回議決したことに戻した。以後は議会運営委員会の判断に。
議会あいねっと録音中継	・ 議場の音響整備を実施しデジタル化としたが、あいねっと放送が長時間放送不可のため現状通り生中継のみ。
議会インターネット放送	・ 錦町ホームページ改変後、協議。
正副議長任期	・ 現状通り、4 年間。
常任委員会名称、所管変更	・ 所管においては現状通り、名称は議会最終年度に改変するか議会運営委員会に委託。
議場の整備	・ 音響整備を実施。照明に関しては積算し執行部と協議。
通年議会導入	・ 2 回の試行を行った。導入賛否に関しては、全会一致でという委員からの発案があり、審議した結果、全会一致に至らず、導入しないということに。
町長の反問権	・ 通年議会導入の場合に検討課題であったので現状通り
副議長・議会運営委員長の選任方	・ 従来錦町議会申し送りを厳密にし、副議長は議長指名が基本、異議がある場合は選挙。議会運営委員長は議長副議長の指名とし意義がある場合は全議員による選挙とした。
広報委員長選任方	・ 従来副議長が広報委員長としていたが、申し送りを改変し、委員会委員による互選とした。

VI おわりに、

議会活性化は、住民の負託に応えるべく、議会と議員が常にその役割と責任を十分認識して行う自己改革でなければならない。という使命感で約 2 年間協議を重ねてきた。既に実施した項目もある。当委員会は解散することになるが、実施すべき項目においては、今後、議会運営委員会、または準備委員会を設け、実施に向け更に活性化に取り組んでもらいたい。

議会のうごき

10月

- 1日 ・ 全員協議会
- 4日 ・ 木質バイオマス発電所起工式
- 6日 ・ 熊本県町村議会議員研修会(オンライン形式)
- 7日 ・ 例月出納検査(～8日)
- 8日 ・ 広報特別委員会
- 10日 ・ 錦町献穀事業(抜穂祭)
- 14日 ・ 定例郡議長会
- ・ 広報特別委員会
- 21日 ・ 広報特別委員会
- 29日 ・ 人吉下球磨消防組合議会臨時会

12月

- 1日 ・ 定例郡議長会
- 3日 ・ 錦町認定農業者会との交流会
- 7日 ・ 令和3年第4回定例会(～10日)
- 10日 ・ 全員協議会
- 16日 ・ 例月出納検査(～17日)
- 20日 ・ 地元国会議員要望及び産業行政視察研修(～22日)

11月

- 1日 ・ 令和3年第2回臨時会
- ・ 全員協議会
- 4日 ・ 町村議会広報研修会(オンライン形式)
- 7日 ・ 大正集落創立100周年記念式典
- 9日 ・ 例月出納検査
- 15日 ・ 定期監査(～16日)
- 16日 ・ 定例郡議長会
- ・ 備品監査(庁舎3階)
- 17日 ・ 第17回錦町議会活性化特別委員会作業部会
- ・ 人吉下球磨消防組合議会議員視察研修
- 26日 ・ 人吉下球磨消防組合議会定例会
- ・ 人吉球磨広域行政組合議会定例会(～12月24日)
- 28日 ・ くま川鉄道部分運行再開記念出発式
- 30日 ・ 議会運営委員会
- ・ 全員協議会
- ・ 第15回錦町議会活性化特別委員会

町村議会広報研修会に参加して



令和3年11月4日、町村議会広報研修会がオンライン形式で開催された。研修内容は、熊本大学客員教授、越地真一郎氏を講師に「そろそろ化けませんか!!」～創意、熱意の取り組みに学ぶ」と題してオンラインによる講演を受講した。

今回の研修は、県内町村議会を4グループに分けての研修で、南小国町、産山村、芦北町、湯前町、苓北町及び錦町議会が第2グループとなり、事前にグループ指定の議会だよりを読んだの感想を事務局に提出。「クリニック・コメント」を基に議論をする内容でした。

錦町議会だより137号へのコメントとして
・(表紙について) 表紙に子どもたちが写っている説明は?
・(一般質問について) 一般質問に力が入っており、議員の活動が伝わる。
・P5の一般質問の表は興味深く議員評定の一つになる。
・(全体的に) 議案の賛否表がないがすべて全会一致の可決か。写真が多く使われページに余裕があり、情景が伝わりやすくなっている。一部当たりの単価が非常に低く抑えられている要因について。

についての質問や賛否の意見等を頂き、改めて議員活動を町民に広くお知らせする責務を強く思い、今回のオンライン研修の良さを感じた研修になりました。

軌跡

「新型コロナウイルス」感染拡大から2年、豪雨災害復旧工事も終りを見せない中に、コロナ感染拡大を防ぐワクチンができ、昨年町民の方々、2回目のワクチン接種を終え安心して生活が出来ると思いきや、今度は「オミクロン株」。感染力が強く、国、県、町共に対策に負われる中、町職員を始め町民の方々の協力も必要である。町民ひとり一人が拡大を防ぐためにも、手洗いや消毒、マスク等徹底して頂きたい。コロナ第6波に備えながら、地域の経済対策を実施して頂くよう頑張りを、経済回復できればと思う毎日です。農産物の価格低迷、燃油価格の高騰等、農家に取っては厳しいものが、又、商工業者についても、先行きが見えない経済回復、職種によっては商品延着にて、仕事が遅れる事業所もある、商品資材の高騰や運賃の値上げ等あり大変である。国、県、町の支援策が必要でないか。我々議員も勉強し、知恵を出し合い、町と議会が一丸となり、令和4年度に向けて、町民の方々と共に、地域の活性化に全力で頑張りたいと思います。

(文責 竹田 農利人)

【広報特別委員会】

委員長 荒川 孝一 委員 池田 秀晴
副委員長 竹田農利人 石松まゆ子

議長 金山 民幸
吉田 眞二